

隠岐の島町

# 議会だより

安全・  
安心な町づくりを



## もくじ

- 議長年頭のあいさつ・・・・・・・・・・ P2
- 12月定例会・質疑・・・・・・・・・・ P3～P6
- 一般質問・・・・・・・・・・ P7～P11
- 常任委員会報告・・・・・・・・・・ P12
- 特別委員会・隠岐広域連合議会報告・・ P13
- 陳情や要望・臨時議会・編集後記・・ P14



あけまして

おめでどう

ございます



町民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年は、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件や、ロシア大統領の国後島訪問などに端を発した領土問題が深刻化し、竹島問題を抱える本町にとって見過ごすことのない事態が起き、離島が目された年でありました。

まさに、私達が暮らす「島」とっては、国土・領海の保全、海洋資源の利用など国家的役割がますます高まっているのは言うまでもありません。

しかしながら、「島」の現実には、少子高齢化の波が止まることなく襲いかかり、長引く経済不況により地域の経済・雇用は一段と厳しく、更に、航路・空路の維持対策や医師不足など、解決しなければならない多くの課題も山積しています。

このように、大変厳しい状況下ではありますが、町民の皆様方と心を一つにして「島を自らの手で守る」という認識に立ち、地場産業の振興や新たな産業創出の基盤づくりに全力を注いでいかなければなりません。

また、国に対しても「島」の実情を訴え、将来の離島に明るい展望がひらけるよう、他の「島」とも手を携え、離島振興を図っていかねばならないと考えます。議会におきましても、町民の皆様方の付託に応えるべく、役割と責任を十分に自覚しながら「安心して暮らせる町」の実現を目指し、全力を尽くしてまいります。

新しい年が、町民の皆様方、そして、隠岐の島町にとって幸多い年となることを心より祈念するとともに、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます、年頭のあいさつといたします。

隠岐の島町議会

議長 米澤 壽重



今年もよろしくお願ひします

# 12月定例会

## 1億3396万円を繰上げ償還

## 3億3250万円を増額補正

### 一般会計予算総額は151億9677万円

12月定例会は、12月13日から21日まで開催された。

提案された主な議案は、平成22年度一般会計や各特別会計補正予算のほか条例改正、工事請負契約の締結、指定管理者の指定、更に、藤田教育長の辞任や委員の任期満了に伴う隠岐の島町教育委員会委員の任命同意案件等である。提案された議案には一部反対の議員もあつたが、全て可決・承認した。松田町政に対しては9名の議員が一般質問を行い、補正予算・条例改正等にも9名の議員が質疑を行った。

## 主な歳出

◇上水道・簡易水道事業への貸付金

1億3396万円

上水道・簡易水道事業での起債償還(借金返済)のために一般会計から貸し付けるため増額。繰り上げ償還することにより、6600万円余の利子負担が軽減される。

◇生活保護扶助費に

5718万円

生活保護世帯の増加や医療扶助等が増えたことによる増額。

◇災害復旧事業に

4900万円

7月豪雨の追加で認められた災害復旧事業や、町単独の災害復旧事業費を増額。

◇私立保育所運営費に

3100万円

私立保育所に入所した児童が増加したことにより、運営費を増額。

◇障がい者福祉サービス事業に

2015万円

障がい者自立支援のための介護給付費や訓練等給付事業で利用者が増えたことにより増額。

◇地域林業振興事業に  
1300万円  
隠岐島木材業製材業協同組合に木材乾燥機を整備する増額。

◇農業活性化事業費を  
▲1165万円  
企業の農業参入支援事業や経営育成事業等で、事業の計画変更や中止、また、翌年度に事業を延期したことにより減額。

◇定住促進住宅事業費を  
▲1500万円  
民間賃貸住宅建設支援事業で、民間から建築する希望者がなかったため補助金を減額。

◇工事請負契約の変更

五箇小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事は工期を短縮するため、次の工事を前倒しする。主な工事内容は、床面補修、ミニバスケットゴールの新設、鋼製建具修繕、ステージ幕など。※請負金額を380万円追加した。



リニューアルされた五箇小学校



## 指定管理者の指定

□隠岐の島町地域福祉センター

・指定管理者となる団体  
社会福祉法人

ふれあい五箇

・指定期間

平成23年4月1日～平成28年3月31日までの5年間。



今日も楽しいデイサービス

□隠岐島文化会館

・指定管理者となる団体  
財団法人 隠岐の島町

教育文化振興財団

・指定期間

平成23年4月1日～平成28年3月31日までの5年間。

## 主な条例改正

◇隠岐の島町公民館設置及び管理条例の改正

公民館を4館体制とし

西郷公民館を隠岐の島町

中央公民館として従来の

西郷地域の公民館事業に

加え、町全体を対象とし

た公民館体制とする。

布施・五箇・都万公民館

の活動は、従来どおり

実施する。

## 隠岐の島町過疎地域自立促進計画を制定

本計画は、過疎地域の総合的かつ計画的な自立促進のための施策を推進することを目的に制定するもの。事業内容は、隠岐の島町総合振興計画の事業実施計画の中から本計画に該当する事業を掲載し、随時、追加・修正等を行う。なお、本年度からハード事業に加えソフト事業も対象となった。

## 隠岐の島町教育委員会委員の任命同意

隠岐の島町教育委員会委員のうち、藤田勲氏から辞職願が提出され、また、梶田豪介氏が任期満了となり、後任の委員が決定した。(敬称略)

城北町 山本和博

《任期》

平成23年1月1日から平成24年12月31日まで。

加茂野 津幸恵

《任期》

平成23年1月1日から平成26年12月31日まで。

※新しい隠岐の島町教育委員会

委員会の体制は次のとおりです。

委員長 武田浩志

委員 秋庭ゆみ子

委員 大西茂雄

委員 野津幸恵

委員長 山本和博

## 支援員配置事業は

遠藤議員 特別な子どもの支援とはどんな支援か。また、支援をする中で、どのような改善・成果が得られたか。

総務学校教育課長 落ち着きがなかったり、肢体が不自由な児童生徒に、授業や給食時間、教室から体育館への移動や着替え等の介助をする。

成果等は、他の児童生徒の妨げにならないよう共に授業を受け、食事や行動させることが可能である。

遠藤議員 あらゆる障がいも個性と表現される今日だが、問題があるといわれる子ども達と共に学ぶことによって、健常といわれる子ども達の心に違いを認めて、「いたわりあい」や「思いやりの心」が育まれ、共生・共存の精神が育つと解釈すれば良いか。

総務学校教育課長 そのとおりである。



いつまでも残したい保育所

## 私立保育所運営費は

前田議員 親が経済事情で保育料を滞納しているも子どもに責任はなく、

全ての児童を気持ちよく

平等に入園させているか

福祉課長 児童福祉法第

24条の規定により保育に

欠ける子どもは実施責任

者として町が保育しなけ

ればならないとされてお

り、入所に関し保育料の

滞納の有無は関係なく家

庭において保育が出来な

い児童については平等に

入所させている。

## 生活保護扶助費は

前田議員 総額5718万円のうち一般財源から1429万円が町負担となっている。社会経済状況を映して受給者増は止むを得ないとしても、社会的弱者救済・自殺者発生予防の点からも民生委員や町の担当職員の出向き調査と指導は重要であり、その取組み状況はどうか。

福祉課長 生活保護法第

7条で原則的には本人の

申請に基づき保護を開始

することとされており、

緊迫状況を除き、福祉担

当職員等の出向き調査で

の受給指導はない。地区

担当民生委員・隠岐病院

地域連携室・役場地域包

括支援センター・納税推

進室などの訪問による生

活困窮者にかかる情報は

随時受け取っている。

本年12月15日現在で24

件の受給申請があり民生

委員から8件、通所施設

## 質問した議員

斎藤昭一・池田信博・遠藤義光  
前田芳樹・安部和子・平田文夫  
高宮陽一・是津輝和・斎藤幸広



## 予算や条例等に対する質問

## 児童扶養手当給付費は

齋藤昭議員 父子家庭扶養手当が本年8月から実施されたが、周知方法や認定者の現況はどうなっているか。

福祉課長 町の広報などで周知を図った。また、自己申告48名を規定に沿って審査した結果、該当者17名であった。

## 指定管理者の指定は

池田議員 公民館と財団の事務が同じ場所で行われていることで様々な問題が発生しているのではないかと質問に、問題があるので財団の事務所は他の場所に移すとの回答だったが、方向性が変わった理由は。

生涯学習課長 公民館と財団の連携や協力関係が良好になった。住民からの苦情もなく、指定管理で管理することを決定し公募をした。

いつも活発な公民館活動



池田議員 答弁内容と方向性が変わったなら所管の委員会だけではなく質問者にも説明すべきだ。教育長 公の場で質問したことについて、議場等公の場で説明をしなかったことについては申し訳ないと思っている。

町長 一般質問で答えたことが違う方向で動くということとは、質問者だけではなく、議員の皆さんにも町の方向を示しているの、今後はそのようなことがないよう十分注意をする。

## 食味計整備事業は

平田議員 財源振替の目的は。

農林水産課長 補助率の

有利な財源に振替えた。

平田議員 「まち」にどの

ような利益をもたらすか。

農林水産課長 品質力を

高めていく。

平田議員 強い農業づく

り交付金実施要綱の趣旨

に沿っているか。

農林水産課長 必要性を

十分検討している

平田議員 機種による測

定誤差の対応は。

農林水産課長 測定・許

容範囲は把握していない。

平田議員 「まち」の利益

は生産者の努力にある。

その対応は。

農林水産課長 今後しつ

かり検証する。



楽しい保育所

## 公立保育所運営費は

前田議員 臨時職員を安

全弁にしているが、雇用

される者は不安定雇用で

やりきれない。公共機関

では臨時は極力抑えて給

料は安くても正規雇用は

努めるべきではないか。

福祉課長 現在の臨時職

員の雇用は障害児保育の

加算と産休代替のための

雇用である。正規雇用に

した場合には、数年後に

障害児の卒園と産休職員

の復帰により職員が過剰

となることから、今後の

児童数の減少による保育

## 農業活性化事業は

高宮議員 農業活性化事業は1165万円の減額となっている。事業を実施する段階で色々と変更が生じることは理解出来るが、余りにも多すぎる。事業の採択の段階でしっかりと協議しておくべきではないか。

農林水産課長 所管の委員会でも同様の意見をいただいております。今後しっかりと取り組む。